

平成29年度事業報告（概要）

平成29年度の日本経済は、アベノミクスの推進により、雇用・所得環境の改善が続くなか、インバウンドの効果もあり緩やかに回復している。

自動車の国内新車販売台数は、対前年度比2.3%増の約519万7千台と2年連続で500万台を確保した。

このような状況のなか、当協会の事業計画は概ね予定のとおり実施することができた。

なお、実施した事業のうち主なものは次のとおり。

I. 公益事業等の推進

1. 自動車の安全・安心の確保・事故防止対策等事業

重要な公益目的事業と位置付けている「安全・安心の確保、事故防止対策」等事業について、以下の取組みを行った。

① 安全・安心な車社会の形成

イ 当協会職員を研修派遣している「運輸安全マネジメント支援センター（TSD）」が行う業務について、前年度に引き続き支援を行った。

ロ TSDが行う運輸安全マネジメントの普及・促進のための認定セミナー（ガイドライン・内部監査）の開催に協賛した。

また、国土交通省近畿運輸局（以下「近畿運輸局」という。）主催の事故防止セミナー、運輸安全マネジメントシンポジウム（バス）等の開催に協力した。



事故防止セミナー



安マネシンポ

② 貸切バス事業に関する適正化コンサルティング事業

貸切バスの安全性向上、法令順守の徹底を図るため、大阪府、兵庫県、滋賀県、奈良県のバス協会が選定する貸切バス事業者に対し、事業の適正化に向けた指導を実施した。

③ 事故防止等運輸行政の調査・資料の収集、法令等の周知徹底

国土交通省が行う「適正な自動車登録行政手続等の啓発」、自動車変更登録等の手続きの促進等陸運関係法令の周知徹底に努めた。

また、近畿バス団体協議会と覚書を締結し、貸切バス事業に関する適正化コンサルティング事業を実施した。

④ 飲酒運転撲滅運動事業

大阪支部等9支部に設置している飲料用自動販売機収入の一部をFM O S A K A S D D事務局を通じて、公益財団法人交通遺児等育成基金に寄付を行った。

⑤ 交通遺児の救済等への助成事業

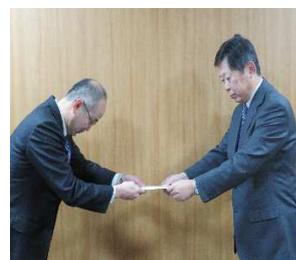
イ 次の団体に対し、交通遺児への援護資金として寄付を行った。



寄付金贈呈(社会福祉協議会)

◎近畿2府4県の各社会福祉協議会

◎公益財団法人交通遺児等育成基金



寄付金贈呈(育英基金)

ロ 交通事故に被災し治療に励まれている方々を支援するため、兵庫県下13病院に車椅子を13台寄贈した。



車椅子贈呈(兵庫県)

⑥ 交通事故防止等

イ 春秋に実施された全国交通安全運動では、新聞紙上等を活用して協賛広告を掲載し、交通安全についての啓発に努めた。

ロ 交通安全祈願を平成29年11月6日に、京都東山「霊山観音」において、交通遺児友の会等関係者の参列を得て執り行い、交通事故の撲滅を祈願した。

2. 自動車登録番号標等の盗難、偽変造防止の取組み

イ 以下の各地域のイベント開催時に、イメージキャラクター「サード君」を活用してナンバープレート・自動車盗難予防意識の向上を図るための広報・啓発を行った。



わかやま商工まつり

◎平成29年10月7日(土)～8日(日)

「わかやま商工まつり」

(場所：和歌山ビッグホエール)

◎平成29年11月11日(土)～12日(日)

「エコ&セーフティ神戸カーライフ・フェスタ2017」

(場所：神戸市メリケンパーク)



サード君

ロ グッズの提供及び販売

◎平成29年9月9日(土)

「滋賀バスまつり」(場所：ピエリ守山)

主催：滋賀県バス協会)

◎平成29年9月11日(月)

「交通環境教室」（場所：常盤幼稚園 主催：近畿運輸局）

ハ 大阪府自動車等盗難防止対策協議会

◎平成29年10月6日（金）

「自動車盗難防止キャンペーン」（場所：淀屋橋駅付近）

二 自動車関係団体専門誌等に宣伝広告を行い、ナンバープレート・自動車等の盗難予防意識の向上に努めた。

3. 案内・相談等事業

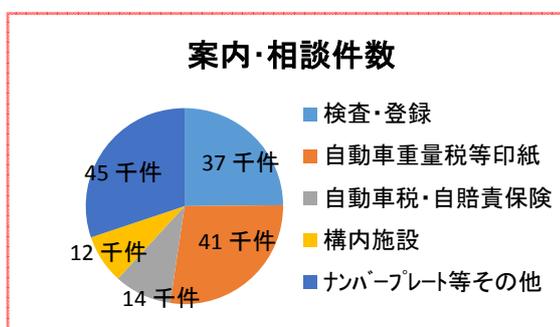
イ 「自動車検査・登録手続き案内」や「接遇マニュアル」を各支部の窓口で活用するとともに、ユーザーからの検査登録手続き等の相談について、的確、迅速に案内・相談業務を行い、窓口サービスの向上を図った。

案内・相談件数は全体で

約149千件あり、その

内訳については

- ①検査・登録関係 約37千件
- ②自動車重量税等印紙関係 約41千件
- ③自動車税・自動車損害賠償保険関係 約14千件
- ④構内施設関係 約12千件
- ⑤ナンバープレート等その他 約45千件



ロ 平成29年7月18日堺支部が移転して和泉支部軽事務所として開業した。関係機関、関係団体と連携してユーザーサービスの向上を目指した窓口配置等に努めた。

4. 自動車登録番号標交付代行事業等

① 自動車登録番号標交付代行事業

近畿運輸局、一般社団法人全国自動車標板協議会（以下「全標協」という。）の指導のもと次の取組みを行った。

イ 標板製作者の指導監督を強化するとともに、品質の管理及び向上を図った。

ロ ラグビーワールドカップ特別仕様ナンバープレート及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様ナンバープレート（以下「特別仕様ナンバープレート」という。）の導入に向けて全標



オリ・パラ特別仕様ナンバープレート



協や関係機関、関係団体等と情報交換や連絡・調整を図り円滑な交付に努めた。

ラグビー特別仕様ナンバープレート

② 自動車登録番号標の甲種封印受託事業

甲種封印受託者として業務に携わる職員及び甲種分室責任者に対し、封印の保管、法令順守について指導を行い、適正な業務運営に努めた。

5. 環境対策事業等

① 低公害車の普及促進

大阪支部駐車場内に設置した電気自動車急速充電器については、引き続き実証実験を行った。

今年度も利用回数は増加傾向が続いており、年間936回（前年度比103%）の利用があった。



EV急速充電器

② 近畿運輸局が行う交通関係環境保全優良事業者等表彰式に協力し、記念講演を実施した。

6. 自動車検査登録印紙等の売り捌き事業等

自動車検査登録印紙、自動車重量税印紙売り捌き及び自動車審査証紙販売並びに自動車損害賠償保障法による業務等の取扱については、窓口の改善を図る等円滑な供給、適切な対応に努めた。

7. 自動車保有関係手続のワンストップサービス化（OSS）への対応

本年度から開始された全国展開、対象手続きの拡大への対応については、国土交通省及び関係機関等と情報交換等を行い、適宜適切に対処した。

8. 地方自治体からの受託事業

京都府の自動車税関係等受託業務について、正確、円滑な業務遂行に努めた。

9. その他

① OB支援事業

近畿陸運OB会と連携して、会員向けシニアサポート事業である「サロン・セミナー」を3回開催し、支援に努めた。



サロンセミナー(会議室)

② CSコンサルティング事業

店舗調査事業の効率的な事業化に向け、前年度を大幅に上回る調査を実施し、事業化の確立に努めた。

③ 合同慰霊祭

運輸関係業務に従事して物故された方々の御霊をお慰めするため、合同慰霊祭を平成29年11月6日に京都東山霊山観音において執り行った。



合同慰霊祭(霊前観音)